

須賀茂雄が CIE Certificate を受賞

2022 年 2 月 8 日、WEB にて開催された CIE(国際照明委員会)国内大会にて、CIE Certificate 伝達式が行われ、当社代表取締役社長 須賀茂雄が受賞いたしました。

CIE/TC2-88 を新たに立ち上げ、委員長を務め、3 年間で CIE 241^{※1}を発行した功績が認められての受賞となりました。

※1 CIE 241:2020

(Recommended Reference Solar Spectra for Industrial Applications)
促進耐候性試験規格に用いられる、太陽放射の分光放射照度の基準となる技術報告書。
(詳細は本誌 256～258 号「CIE 85:1989 の廃止と CIE 241:2020 の発行」を参照ください。)



国際規格の動向—国際会議に出席して—

*喜多英雄

昨年 11 月～本年 3 月の国際会議も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全て Web 開催であった。当社に係る審議について報告する。

ISO/DIS 11997-3^{※2} (N-VDA 腐食サイクル試験) Ad hoc 会議

ISO/TC35/SC9 (ペイント及びワニス/一般試験方法)
WG31 (硬化後の試験)

当社より須賀、喜多、長谷川の 3 名が参加した。

開催日: 2021 年 11 月 24 日、12 月 1 日

参加国: アメリカ・ドイツ・オーストリア・スウェーデン・日本
5 か国 12 名

日本からの 26 件のコメントをはじめ、各国のコメントについて議論した。PL のドイツが修正案を準備する。

(その後ドイツより修正案が回送され、現在 FDIS 投票中。)

※2 Paints and varnishes — Determination of resistance to cyclic corrosion conditions — Part 3: Testing of coating systems on materials and components in automotive construction

ISO/CD 16701^{※3} (Volvo 腐食サイクル試験) Ad hoc 会議

ISO/TC156 (金属及び合金の腐食)
WG7 (腐食促進試験)

当社より須賀、喜多、長谷川の 3 名が参加した。

開催日: 2022 年 3 月 2 日

参加国: アメリカ・ドイツ・オランダ・オーストリア・スウェーデン・オーストラリア・日本 7 ヶ国 16 名

主に Scope に関して議論を行った。日本からの 87 件のコメントを中心に議論し、PL のスウェーデンが修正案を準備する。

※3 Corrosion of metals and alloys — Corrosion in artificial atmosphere — Accelerated corrosion test involving exposure under controlled conditions of humidity cycling and intermittent spraying of a salt solution

* 校正部 部長

規格ニュース

新規に発行された ISO 規格・IEC 規格・ASTM 規格・JIS 規格をご紹介します。

ISO 24284: 2022**Metallic coatings — Corrosion test method for decorative chrome plating under a de-icing salt environment 新規**

韓国提案によりISO/TC107/SC7(金属及び無機被膜/腐食試験、コミッティーマネージャー:須賀)にて審議され、新たに発行された規格である。融雪塩(特に塩化カルシウム)環境下におけるクロムめっきが施された主に自動車外装用装飾部品の耐食性を評価する試験方法を規定している。

IEC 60695-2-10**IEC 60695-2-11****IEC 60695-2-12****IEC 60695-2-13**

(全て: 2021)

Fire hazard testing - Glowing/hot-wire based test methods**- Part 2-10/Part 2-11/Part 2-12/Part 2-13 改正**

用語の定義の見直しなどが行われた。さらに、評価に用いられる各種の時間(例: グローワイヤ押し付け時間など)の定義が、共通の試験方法を規定する Part 2-10 の中に統合された。

ASTM G155: 2021**Standard Practice for Operating Xenon Arc Lamp Apparatus for Exposure of Materials 改正**

G03 のその他の規格と同様、タイトルより“Non-Metallic”が削除された。分光放射照度の表が ISO 4892-2 と同様に細分化され、槽内温度に関するガイダンスと、ASTM D7869 の試験条件が追加された。11.Precision and Bias の章が削除され、新たに試験片洗浄の章が追加された。

JIS K 7201-1**JIS K 7201-2****JIS K 7201-3**

(全て: 2021)

プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—**第1部: 一般要求事項/第2部: 室温における試験/第3部: 高温における試験 改正**

2017 年に酸素分析計の使用を必須とする改正が行われた対応国際規格 ISO 4589-1, -2, -3 に整合させるため、改正された。

JIS L 0841:2021**日光に対する染色堅ろう度試験方法 改正**

規定されていた 7 級ブルースケールが正確な退色挙動を示さないという問題があり、日本学術振興会染色堅ろう度第 134 委員会の研究成果による新たな 7 級ブルースケールが規定された。また、第 3 露光法において目的とするブルースケールを 1 級とした場合に、試験の実施が困難となる記載等について、改正された。(JIS 原案作成団体: 公益財団法人 スガウェザリング技術振興財団)

JIS L 0842:2021**紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法 改正**

第 3 露光法において目的とするブルースケールを 1 級とした場合に、試験の実施が困難となる記載について、改正された。また、「毛糸、毛織物などの場合における別法」は一定の照射時間による方法のみを残し、既に販売されていない光量校正紙(LSP)は削除された。

(JIS 原案作成団体: 公益財団法人 スガウェザリング技術振興財団)